令和5年第3回府中町議会定例会

会議録(第1号)

1. 開会年月日 令和5年6月23日(金)

2. 招集の場所 府中町議会議事堂

3. 開議年月日 令和5年6月23日(金)

~~~~~○~~~~~

4. 出席議員(18名)

議長	梶川三樹夫君	副議長	二見伸吾君
1番	川上翔一郎君	2番	宮本彰君
3番	西山優君	4番	狩野雄二君
5番	坂田栄一君	6番	田中伸武君
7番	山口晃司君	10番	西友幸君
11番	寺尾光司君	12番	力山彰君
13番	三宅健治君	14番	齋藤昇君
15番	益田芳子君	16番	橋井肇君
17番	児玉利典君	18番	木田圭司君

~~~~~○~~~~~

5. 欠席議員(0名)

~~~~~○~~~~~

6. 付議事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 会期の決定
- 3 諸報告
  - (1) 議長報告
  - (2) 常任委員会委員長報告
  - (3) 議会運営委員会委員長報告
  - (4) 議会報特別委員会委員長報告
  - (5) 監査委員報告
  - (6) 広島県後期高齢者医療広域連合議会議員報告

- 4 町長報告
- ・行政報告
  - ・報告第5号 専決処分の報告について
  - ・報告第6号 予算の繰越明許の報告について（一般会計）
  - ・報告第7号 府中町土地開発公社の経営状況について
- 5 第27号議案 令和5年度府中町一般会計補正予算（第3号）
- 6 第28号議案 府中町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
- 7 第29号議案 府中町税条例の一部改正について
- 8 第30号議案 府中町老人ホーム入所判定委員会設置条例の制定について
- 9 第31号議案 府中町火災予防条例の一部改正について
- 10 第32号議案 工事請負契約の締結について
- 11 第33号議案 工事請負契約の締結について

~~~~~○~~~~~

7. 説明のため会議に出席した者

町	長	佐藤信治君
副町	長	齋藤哲也君
教	育	長 新田憲章君
総務企画部	長	増田康洋君
財	務	部 長 胡子幸穂君
福祉保健部	長	山西仁子君
町民生活部	長	森本雅生君
建設部	長	井上貴文君
消	防	長 新宅和彦君
教	育	部 長 榎並隆浩君
危機管理監		屋敷学君
総務企画部次長兼情報管理課長		岩崎雅男君
財務部次長兼財政課長		中本孝弘君
福祉保健部次長兼高齢介護課長		藤永美香君
建設部次長兼職都市整備課長		磯亀智君
消防次長兼消防総務課長		橋本臣彦君

政 策 企 画 課 長	土 井 賢 二 君
総 務 課 長	宮 脇 理 恵 君
管 財 課 長	正 木 伸 君
税 務 課 長	藤 田 正 明 君
福 祉 課 長	箱 田 進 一 君
子 育 て 支 援 課 長	塩 月 久 美 子 君
健 康 推 進 課 長	平 岡 直 美 君
下 水 道 課 長	岡 村 紀 行 君
建 築 課 長	原 田 司 君
区 画 整 理 課 長	長 岡 広 憲 君
予 防 課 長	相 田 興 範 君
教 育 総 務 課 長	藤 永 政 己 君
学 校 教 育 課 長	立 花 淑 子 君
社 会 教 育 課 長	竹 林 邦 彦 君
危 機 管 理 課 長	松 林 亮 君

~~~~~○~~~~~

8. 職務のため会議に出席した者

議 会 事 務 局 長 森 太 君

~~~~~○~~~~~

9. 議事の内容

(開会 午前 9時30分)

○議長(梶川三樹夫君) それでは、改めまして皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は18名で定足数に達しておりますので、議会は成立いたしております。よって、令和5年第3回府中町議会定例会を開会いたします。

(開議 午前 9時30分)

○議長(梶川三樹夫君) 直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程でございますが、お手元に配付いたしております日程で会議を進めてまいりたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(梶川三樹夫君) 御異議なしと認めます。よって、議事日程のとおり会議を進

次に、各常任委員会の委員長報告を行います。

総務文教委員会、山口委員長、お願いします。

○7番（山口晃司君） 皆さんおはようございます。総務文教委員会の報告をさせていただきます。

3月定例会以降、4月17日と5月22日に委員会を、6月12日に委員会と協議会を開催しております。

4月17日の委員会では、開会前に異動に係る課長級以上の職員紹介を受け、また、委員会を開会して町長と教育長の報告を受け、学校教育に関する事務調査として、今年度の児童生徒数について報告を受けています。また、行政視察先への質問を委員に伺っております。

なおコロナ禍の中、密を避けて本会議場で委員会を行ってありましたところ、この日から従前どおり第1委員会室で開催いたしております。

5月22日の委員会におきましては、小学校におけるICT授業等の状況及びコロナ後の給食ということで、東小学校に現地踏査を行っております。

6月12日の委員会におきましては、町長と教育長の報告を受けた後、府中町子どもの読書活動推進計画について説明を受けております。

また、委員会に続いて、協議会を開催し、今定例会に向けた議案等の概要説明を受けております。

また議員の皆様のお机にお配りしましたとおり、行政視察の出張報告の取りまとめを行っておりますので、参考にいただければと思います。

なお、今回、本会議から当委員会への付託議案はございませんでした。

以上、簡単ではございますが、総務文教委員会の報告を終わります。

○議長（梶川三樹夫君） 厚生委員会、木田委員長、お願いします。

○18番（木田圭司君） 皆さんおはようございます。厚生委員会の報告をさせていただきます。

令和5年3月定例会以降、4月18日と5月8日に委員会を、6月13日に委員会並びに協議会を開催しております。

4月18日の委員会では、社会福祉に関する事務調査として、府中町第3次地域福祉計画について説明を受けました。また、生活環境に関する事務調査として、府中町ごみ処理基本計画について、令和5年度主要工事執行計画（下水道事業会計）につい

て、工事請負契約変更の締結の報告について説明を受けました。

そのほか5月24日から26日に実施した行政視察の日程と視察内容について調整を行っております。

5月8日の委員会では、生活環境に関する事務調査として、府中町第2次環境基本計画の改定（案）について説明を受けました。

6月13日の委員会では、生活環境に関する事務調査として、下水道事業会計分の工事請負契約の締結の報告についてと、工事請負変更契約の締結の報告について説明を受けております。

また、6月13日の委員会では、行政視察の出張報告を取りまとめを行っております。皆様のお手元に配付いたしておりますので、御覧になっていただければと思います。

そのほか6月定例会前ということで、協議会に切り替えて提出予定の案件について説明を受けております。

なお、本会議から当委員会への付託案件はございませんでした。

以上で、厚生委員会の報告を終わります。ありがとうございました。

○議長（梶川三樹夫君） 建設委員会、力山委員長、お願いいたします。

○12番（力山 彰君） 皆さん、おはようございます。建設委員会の報告をさせていただきます。

令和5年3月定例会以降、4月19日に委員会、6月14日に委員会並びに協議会を開催しております。また、5月8日から10日にかけて行政視察を行っております。

4月19日の委員会では、建設事業に関する事務調査、都市計画に関する事務調査、山陽本線連続立体交差及び向洋駅周辺再整備事業に関する事務調査に関し、3件の説明がありました。

1つ目は、令和5年度主要工事執行計画について。2つ目の工事請負契約の締結の報告については、府中町内県道・町道等維持補修の契約締結について。3つ目の工事請負変更契約の締結の報告については、青崎25号線道路改修工事の変更契約の締結について説明がありました。

また、行政視察についても調整を行いました。

6月14日の委員会では、建設事業に関する事務調査に関し、工事請負契約の締結の報告についてとし、道路新設改良工事（青崎25号線）の契約締結について説明が

ありました。

また、都市計画に関する事務調査として、出張報告の取りまとめを行っております。

5月8日から10日までの行政視察につきましては、出張報告にまとめ、皆さんのお手元に配付いたしておりますので、御覧ください。

また、6月定例会前であるため協議会に切り替え、6月定例会に向けた案件の概要説明を受けております。

なお、本会議から当委員会への付託議案はございませんでした。

以上で、建設委員会の報告を終わります。

○議長（梶川三樹夫君） 議会運営委員会、西委員長、お願いします。

○10番（西 友幸君） 皆さんおはようございます。議会運営委員会の報告をさせていただきます。

議会運営委員会は、令和5年3月定例会の会期中3月14日に開催し、予算特別委員会の中で要求のあった、これ、ひとりの議員からあったんですが、他の分科会の所掌に属する詳細な事項に関する質疑を行うことについては、分科会制度に基づき、各分科会で審査を行うべきであることという結論に達しました。

他の分科会の所掌事項については質疑したい場合は、これまでどおりその分科会に所属する委員に依頼することを確認しました。これらは予算特別委員会の中でも報告をしております。

これ以降は、一昨日の6月21日、委員会を開催しております。この日の委員会では本定例会の会期決定などを行っております。

このほか、議場における新型コロナウイルスの感染症対策の緩和についてということで、本定例会から議場等でのマスクの着用義務を解除を含め、対策の休止を決めております。

また、長期欠席者に係る議員報酬の特例に関する調査、研究についても行っております。委員会で決定した大まかな案を全員協議会などの機会があれば、議員の皆様にもまたお示しできるかと考えております。

ほかに、政務活動費の収支報告書を来年度からホームページ上で公表することも決定しております。

最後に3月の予算特別委員会で、寺尾委員から出された自分の所属しない分科会の所掌事務に対して質問がしたいという要望については、ほぼ全委員が現行の分科会に

よる審議が合理的という意見であり、3月14日に決定した内容と同じく、従前の方式を続けるということで決定しました。

以上、議会運営委員会委員長報告を終わります。

○議長（梶川三樹夫君） 議会報特別委員会、橋井委員長、お願いします。

○16番（橋井 肇君） 皆さん、おはようございます。議会報特別委員会の報告をさせていただきます。

3月定例会以降、議会報特別委員会は、3月22日の定例会閉会后、4月4日、4月12日及び昨日6月22日の4回開催しております。

3月22日の委員会では、議会だより（第169号）の執筆者や、発行までの日程を確認しました。

4月4日の委員会では、原稿の校正と写真調整を、4月12日の委員会では、初校により、見出しや記事内容などを校正しました。

また、昨日6月22日の委員会では、今定例会の内容をお知らせする議会だより（第170号）の編集に向けて、執筆者の決定や、発行までの日程調整などについて協議いたしました。

以上で、議会報特別委員会の報告を終わります。

○議長（梶川三樹夫君） 次に、監査委員報告をお願いします。

児玉監査委員。

○17番（児玉利典君） 皆さん、おはようございます。監査委員報告をさせていただきます。

監査は、府中町代表監査委員土井精二並びに監査委員児玉利典の2名で実施いたしました。

地方自治法第235条の2第1項の規定に基づく月例出納検査ですが、令和5年2月分を3月17日に、3月分を4月20日に、4月分を5月19日に実施しました。

検査の結果につきましては、お手元の配付資料のとおり、いずれも現金の出納事務が適正に処理されていることを認めました。

以上、監査委員報告を終わります。

○議長（梶川三樹夫君） 次に、広島県後期高齢者医療広域連合議会議員報告をお願いします。

木田議員。

○18番（木田圭司君） 広島県後期高齢者医療広域連合議会議員報告を行います。

令和5年3月定例会以降は広島県後期高齢者医療広域連合議会は開催されていませんので、報告事項はございません。

以上で報告を終わります。

○議長（梶川三樹夫君） 以上をもって諸報告を終わります。

~~~~~○~~~~~

○議長（梶川三樹夫君） 日程第4に入る前に、理事者の入場のため、しばらく休憩いたします。

10時から再開をいたします。休憩。

（休憩 午前 9時50分）

（再開 午前10時00分）

○議長（梶川三樹夫君） 休憩中の議会を再開します。

~~~~~○~~~~~

○議長（梶川三樹夫君） 日程第4、町長報告を行います。

最初に行政報告からお願いします。

町長。

○町長（佐藤信治君） 皆さん、おはようございます。

本定例会は、本日から27日までの5日間の会期ということでございます。どうかよろしくお願いいたします。

それでは町長報告の行政報告を行います。

令和4年度歳入歳出決算見込みの概要についてでございます。

令和4年度の歳入歳出決算について、令和5年5月31日をもって出納閉鎖となり、現時点での令和4年度歳入歳出決算の見込みを御報告いたします。

令和4年度一般会計歳入歳出決算は、歳入総額191億124万円、歳出総額187億482万円で、翌年度へ繰り越すべき財源4,576万円を除き、3億5,066万円の剰余金が生じる見込みとなっております。

財政調整積立基金については、取崩し額ゼロとなりまして、基金現在高は16億1,700万円となる見込みです。前年度末と比較をして、1億5,000万円の増加となります。

また、各特別会計及び下水道事業会計においても、適正な予算執行の結果、赤字決算はございませんでした。

なお、詳細につきましては、9月議会での決算審査等において御説明をいたします。
よろしく申し上げます。

○議長（梶川三樹夫君） ただいまの行政報告に対して質問のある方。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） ないようですので、行政報告を終わります。

続いて、報告第5号、専決処分の報告についてをお願いします。

町長。

○町長（佐藤信治君） 報告第5号 令和5年6月23日提出。

専決処分の報告について。

府中町子ども・子育て会議設置条例等の一部を改正する条例について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により、令和5年5月31日に次のとおり専決処分したので、同条第2項の規定により報告する。

府中町長 佐藤信治

1枚めくっていただいて提案理由というのがあるんですけど、改正理由ですね、報告ですから。こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するものでございます。

補足説明は、福祉保健部長が行います。よろしく申し上げます。

○議長（梶川三樹夫君） 補足説明。

福祉保健部長。

○福祉保健部長（山西仁子君） おはようございます。福祉保健部長です。

府中町子ども・子育て会議設置条例等の一部改正について、補足して説明いたします。

報告第5号参考資料を御覧ください。

今回の専決処分の報告につきましては、府中町議会の委任による長の専決処分事項の指定について第1項に規定する条例の改廃で、法令の改廃に伴い引用する条番号等若しくは語句又は条文の整理を行い、かつ、町独自の判断を伴わない条例を定めることに該当するものであることから、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分により改正し、同条第2項の規定により議会に報告するものです。

1、改正の趣旨です。

令和5年4月1日にこども家庭庁が設置され、厚生労働省等関係省庁からこども家庭庁に所掌事務が移管されました。こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律（令和4年法律第76号）の施行に伴い、条例の一部を改正するものです。

2、改正事項の概要です。

法律の施行に伴い、関連規定及び引用する条項番号を整理するものです。

第1条による改正は、府中町子ども・子育て会議設置条例の一部改正で、子ども・子育て支援法第72条から第76条までが削除されたことにより、引用する条番号を整理するものです。

第2条による改正は、府中町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正で、子ども・子育て支援法第19条第2項が削除されたことにより、引用する条番号を整理するものです。

第3条による改正は、府中町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正で、所掌事務が厚生労働省からこども家庭庁に移管されたことにより、厚生労働大臣を内閣総理大臣に改めるものです。

3、施行期日は公布の日です。

4、専決処分年月日は令和5年5月31日です。

説明は以上です。よろしくお願いいたします。

○議長（梶川三樹夫君） 続いて、質問に入ります。

質問のある方。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） ないようでございますので、本件についての報告を終わります。

次に参ります。

続いて、報告第6号、予算の繰越明許の報告について（一般会計）を行います。

町長。

○町長（佐藤信治君） 報告第5号 令和5年6月23日提出。

予算の繰越明許の報告について（一般会計）。

令和4年度府中町一般会計予算の繰越明許費繰越計算書を調製したので、地方自治

法施行令（昭和22年政令第16号）第146条第2項の規定により報告する。

府中町長 佐藤信治

補足説明は財務部長が行います。よろしく申し上げます。

○議長（梶川三樹夫君） 補足説明。

財務部長。

○財務部長（胡子幸穂君） おはようございます。財務部長です。

報告第6号、予算の繰越明許の報告について（一般会計）を補足して説明します。

本報告は、令和4年度一般会計補正予算、第6号・12月補正、第7号・3月補正において議決をいただいた繰越明許費について、今年度に入り、翌年度繰越額が確定したので、その内容について報告するものです。

それでは裏面を御覧ください。

令和4年度繰越明許費繰越計算書です。

表の左側の列から款、項、事業名と表示し、次の金額は、12月補正と3月補正で繰越額として議決いただいている金額です。次の列の翌年度繰越額が今回報告する確定した繰越額になります。さらに右側の列は、その財源内訳となっております。

それでは、事業ごとに説明します。

款 総務費、項 総務管理費、総合行政情報システム構築事業は、280万5,000円の繰越しです。

税の収納において、地方税共通納税システムに対応するシステム改修を実施しているところですが、再発行分の納付書へのQRコード付設について協議に時間を要したことから繰越しを行いました。

システム改修は令和5年6月上旬に完了し、現在運用を開始しています。

款 衛生費、項 保健衛生費、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業は、1,122万1,000円の繰越しです。

新型コロナのワクチン接種については、令和5年度に引き続く円滑な接種体制を継続するため、4月から5月末までに見込まれる必要経費について、繰越しを行いました。

なお、国の新たな指針による令和5年度のワクチン接種の事業費については、4月の専決補正予算第1号及び本定例会に上程している補正予算第3号に計上しています。

続いて、協働型環境づくり事業は、459万6,900円の繰越しです。

現在実施中の第2次環境基本計画の中間見直しにおいて、広島県が3月末に改定を行った第3次広島県地球温暖化防止計画との整合を図る必要があるため、年度内の完了が見込めず繰越しを行いました。

事業の完了見込みは、令和5年7月末です。

続いて、低炭素型まちづくり事業は、162万9,600円の繰越しです。

現在策定中の第4次地球温暖化対策実行計画においても、先ほどの第2次環境基本計画と同様に、県の計画との整合を図る必要があるため、年度内の完了が見込めず繰越しを行いました。

事業の完了見込みは、令和5年9月末です。

項 清掃費、廃棄物適正処理推進事業は82万5,000円の繰越しです。

一般廃棄物組成調査業務において、データ収集場所の選定や分析方法等について協議に時間を要したため、年度内の完了が見込めず繰越しを行いました。

令和5年4月に事業は完了しています。

款 土木費、項 道路橋りょう費、道路新設改良事業は、1,785万円の繰越しです。

内容は、工事2件です。

1件目の工事は、鹿籠14号線道路改良工事で385万円の繰越しです。地権者との協議に時間を要したため、年度内の完了が見込めず繰越しを行いました。

令和5年5月に工事は完了しています。

2件目の工事は、青崎25号線道路改良工事で1,400万円の繰越しです。

本工事は、国の補正予算に合わせ、3月補正で事業費を計上したもので、年度内の完了が見込めず繰越しを行いました。

工事の完了見込みは、令和6年2月中旬です。

続いて、補助街路整備事業は、5,854万3,894円の繰越しです。

みくまり14号線道路改良工事において、令和4年度施行分について、電柱の移設が遅れたことから、年度内の完了が見込めなくなったこと、令和5年度施行分について、国の補正予算に合わせ3月補正に前倒しして事業費を計上したため、年度内の完了が見込めなくなったことから併せて繰り越しを行いました。

事業の完了見込みは令和5年9月末ですが、令和4年度施行分である新宮橋架け替え工事については6月末に完了の見込みです。また、部分使用の手続により、5月中

旬に新しい橋の通行は可能となっています。

項 都市計画費、向洋駅周辺土地区画整理事業は、4億7,283万849円の繰越しです。

本事業の物件移転補償費について、国の補正予算に合わせ、3月補正で事業費を計上したため、年度内の完了が見込めず繰越しを行いました。

事業の完了見込みは、令和6年3月末です。

続いて、広島市東部地区連続立体交差事業は、1億4,784万5,032円の繰越しです。

本事業の事業主体である広島県が、府中町域の仮線工事等において、事業推進のため事業量を追加し繰越しを行ったことから、町の負担金についても繰越しを行いました。

事業の完了見込みは、令和6年3月末です。

項 排水路費、水路改良等事業は1,394万円の繰越しです。

町内5か所の水路について、出水期までのしゅんせつ・補修工事が必要であるため、3月補正で予算計上し、年度内の完了が見込めないことから繰越しを行いました。

令和5年6月に事業は完了しています。

款 教育費、項 社会教育費、放課後児童クラブ（留守家庭児童会）整備事業は、977万9,000円の繰越しです。

府中南小学校区留守家庭児童会の施設改修工事について、10月実施の入札が不調となったことから、一部設計の見直しを行い、工期等を変更した上で再度入札となりました。当初3月末までとしていた工期を延伸したことから、年度内の完了が見込めず繰越しを行いました。

令和5年6月に事業は完了しています。

補足説明は以上です。よろしく申し上げます。

○議長（梶川三樹夫君） 続いて、質問に入ります。

質問のある方。

10番西議員。

○10番（西 友幸君） 向洋駅の土地区画整理事業におきまして、I医院の今年度強制執行するという話を伺ってるんですが、あれから大分質問はしてなかったんですが、どの程度進んでるんか。そこら辺をちょっとお聞かせください。よろしくお願いま

す。

○議長（梶川三樹夫君） 区画整理課長。

○区画整理課長（長岡広憲君） 区画整理課長です。

向洋駅周辺土地区画整理事業ですけれども、令和5年3月末現在でですね、JRの山陽本線から北側はほぼ整備が完了しております。現在は南側につきまして、連立事業とですね、足並みそろえて調整しながら整備中です。

それで今現在の宅地の整備率ですけれども、令和5年3月末現在で約77%整備が完了しております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

10番西議員。

○10番（西 友幸君） 今、南側において今何%ぐらいいってますか、駅の南側。

○議長（梶川三樹夫君） 区画整理課長。

○区画整理課長（長岡広憲君） 区画整理課長です。

南側で約3分の2ぐらい、株式会社マツダの病院棟と、入院棟ありますけれども、あれを含めれば、もう3分の2以上は終わっております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

14番齋藤議員。

○14番（齋藤 昇君） ちょっとかぶるかも分らないのですが、今、仮線路、この件で御案内があったと思うんですが、今の説明で仮線路のほうは僕はちょっと理解できないんで、もう少し詳しくお願いいたします。

○議長（梶川三樹夫君） 建設部長。

○建設部長（井上貴文君） 建設部長です。

今回の報告第6号については、国の補正予算等による物件移転補償に関する繰越額を計上しております。今御質問のありました連立の今後の進捗及び直接施行に関する今後の町の方針につきましては、また機会をもちまして御説明のほうをさせていただきたいと思います。今回の報告はあくまでも、この繰越額に関する報告でございますので、よろしくお願いたします。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

ほかにございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(梶川三樹夫君) ほかにないようございますので、本件についての報告を終わります。

次に参ります。

続いて、報告第7号、府中町土地開発公社の経営状況についてをお願いします。

町長。

○町長(佐藤信治君) 報告第7号 令和5年6月23日提出。

府中町土地開発公社の経営状況について。

地方自治法(昭和22年法律第67号)第243条の3第2項の規定により、府中町土地開発公社の経営状況を次のとおり報告する。

府中町長 佐藤信治

補足説明は総務企画部長が行います。よろしくをお願いします。

○議長(梶川三樹夫君) 補足説明。

総務企画部長。

○総務企画部長(増田康洋君) おはようございます。総務企画部長です。

報告第7号、府中町土地開発公社の経営状況についてに関し、補足して説明いたします。

府中町土地開発公社では、令和5年度予算に関し、令和5年3月30日に、また令和4年度決算に関し、令和5年5月23日にそれぞれ理事会を開催し、議決を受けています。

それではまず、令和4年度決算から御説明いたします。

2ページをお願いいたします。

令和4年度に行った事業の概況が記載されています。

1、総括の(1)は、保有土地賃貸事業です。

公社保有土地の一部352.5平方メートルについて、広島市東部地区連続立体交差事業に係る工事中資機材置場として業者に貸付けを行い、78万6,072円の収益がありました。

(2)は、当年度末公有地保有状況です。

土地の売買はなかったことから、前年度と比較し、面積の増減はなく、

3, 423.02平方メートル。金額にして7億3,398万700円となっています。

3ページお願いします。

貸借対照表です。

まず資産の部です。

1、流動資産の(1)現金及び預金は423万4,361円となっています。

(3)公有用地は、先ほど御説明したとおり、7億3,398万700円となっています。

2、固定資産です。

(2)無形固定資産のソフトウェア17万8,200円は、平成30年度に購入した公社財務システムの減価償却後の残存価格です。

(3)投資その他の資産の長期性預金500万円は、基本財産としての町からの出資金です。

資産合計は、7億4,339万3,261円となっています。

次に、負債の部です。

1、流動負債の(1)預り金は、今後納付を行うものですが、役員報酬に係る源泉所得税で1,360円となっています。

2、固定負債の(1)長期借入金は金融機関からの借入金残高で、5億8,101万2,000円となっています。

負債合計は5億8,101万3,360円となっています。

次に資本の部です。

1、資本金の(1)基本財産500万円は、町からの出資金で、先ほどの資産の部、
2、固定資産の(3)投資その他の資産における長期性預金と同額となっています。

2、準備金の(1)前期繰越準備金は、令和3年度からの繰り越した金額を計上しており、1億5,719万1,377円となっています。

(2)当期純利益は、当期の損益計算上の利益を計上したもので、18万8,524円となっています。

資本合計は、1億6,237万9,901円となっています。

さらに負債の部と資本の部を合わせた負債資本合計は7億4,339万3,261円となっており、資産の部合計額と一致しております。

続いて4ページ、5ページは、財産目録ですが、3ページ、貸借対照表の内訳を記載したものですので、説明は省略いたします。

6ページをお願いします。

キャッシュ・フロー計算書です。

当書類は3ページ、貸借対照表の資産の部、1、流動資産の(1)現金及び預金423万4,361円の内訳を示すものとなっています。

1、事業活動によるキャッシュ・フローです。

公有地取得事業支出は、支払利息でマイナス72万6,560円。附帯事業支出は、保有土地賃貸事業に係る公租公課と敷金の返還金で、マイナス38万2,392円を計上しています。

その他事業収入は、保有土地の賃貸事業収入で、78万6,072円。人件費支出は、役員報酬でマイナス5万2,660円。その他業務支出は、公社財務システム保守などの事務費で、マイナス15万450円をそれぞれ計上しています。

預金に係る利息の受取額1,302円を加算した事業活動によるキャッシュ・フロー計はマイナス52万4,688円を計上しています。

3、財務活動によるキャッシュ・フローです。

長期借入れによる収入が3億6,201万2,000円、長期借入金の返済による支出がマイナス3億6,201万2,000円、差引き財務活動によるキャッシュ・フロー計はゼロとなっています。

4、現金及び現金同等物増加額または減少額は、1と3の合計でマイナス52万4,688円を計上しています。

5の現金及び現金同等物期首残高、すなわち前年度決算における期末残高475万9,049円と、4との合計が6の現金及び現金同等物期末残高で423万4,361円を計上しています。

7ページをお願いします。

損益計算書です。

当書類は、3ページ、貸借対照表の資本の部、2、準備金の(2)当期純利益18万8,524円の内訳を示すものとなっています。

1、事業収益の(2)附帯等事業収益は、保有土地の賃貸事業収入で、78万6,072円を計上しています。

2、事業原価の(2) 附帯等事業原価は、固定資産税などの公租公課で、15万7,800円を計上しています。

3、販売費及び一般管理費は、役員報酬や減価償却費などで、44万1,050円を計上しています。

4、事業外収益は預金に係る受け取り利息で1,302円を計上しています。

損益の集計は18万8,524円となり、同額を当期純利益として計上しています。

8ページから13ページは、ただいま御説明いたしました決算に係る附属明細書となっています。参考にしていただければと思います。

それでは続きまして、令和5年度予算について御説明をいたします。

14ページから令和5年度の予算書となっています。

15ページをお願いします。

第2条、事業計画の1、公有地売却事業は計上がありません。

2、附帯等事業として、保有土地賃貸等事業を計上しています。

16ページをお願いします。

第3条は、収益的収入及び支出です。

事務的な経費などを計上しています。

17ページをお願いします。

第4条は、資本的収入及び支出です。

長期借入れに係る経費などを計上しています。

18ページをお願いします。

第5条は、長期借入金に係る目的や限度額などを記載をしています。

19ページをお願いします。

第6条は、資金計画です。

第3条、第4条に計上した金額などを、受入れ・支払い別に計上しています。

受入れ資金が1,146万4,000円。支払い資金が272万4,000円、差引き874万円となっています。

補足説明は以上です。よろしくをお願いします。

○議長（梶川三樹夫君） 続いて、質問に入ります。

質問のある方。

2番宮本議員。

○2番（宮本 彰君） 2番宮本です。

長期借入金のところですね、広島市信用組合府中支店から呉信用金庫安芸支店のほうに借換えみたいな形になっておりますけど、何か理由があれば教えていただきたい。

○議長（梶川三樹夫君） 答弁。

都市整備課長兼職次長。

○建設部次長兼職都市整備課長（礪亀 智君） 都市整備課長兼職次長です。

宮本議員の御質問に対して答弁いたします。

今の借入れにつきましては、3年定期となっておりますので、3年が来ましたのでその借換えを行ったものでございます。

以上でございます。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

宮本議員。

○2番（宮本 彰君） 宮本です。

定期が3年満期だからってというのは分かるんですけども、これなぜ銀行が変わったかっていうのは、継続とかっていうのはなかったんですか。

○議長（梶川三樹夫君） 都市整備課長兼職次長。

○建設部次長兼職都市整備課長（礪亀 智君） 都市整備課長兼職次長です。

公社では借換えの際はその都度銀行、今回5行についてですね、競争いたしましてその率をもって借換えをしておりますので、一番率が低かった呉信用金庫のほうに借換えを行ったという経緯でございます。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） ほかにないようですので、本件についての報告を終わります。

以上で、町長報告を終わります。

次に参ります。

~~~~~○~~~~~

○議長（梶川三樹夫君） 日程第5、第27号議案、令和5年度府中町一般会計補正予

算（第3号）を議題に供します。

本案について、理事者の説明を求めます。

町長。

○町長（佐藤信治君） 第27号議案 令和5年6月23日提出。

令和5年度府中町一般会計補正予算（第3号）。

令和5年度府中町の一般会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2億6,141万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ197億2,483万6,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

（地方債の補正）

第2条 地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

府中町長 佐藤信治

補足説明は財務部長が行います。よろしくお願ひします。

○議長（梶川三樹夫君） 補足説明。

財務部長。

○財務部長（胡子幸穂君） 財務部長です。

第27号議案、令和5年度府中町一般会計補正予算（第3号）について、補足して説明します。

それでは、第1条、歳入歳出予算の補正について、歳入歳出補正予算事項別明細書により説明します。

6ページをお願いします。

歳入です。

款 国庫支出金、項 国庫負担金、目 衛生費国庫負担金、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金は、歳出・衛生費、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の特定財源で7,571万3,000円の増額補正です。ワクチン接種そのものに要する経費に対する負担金で、負担率は10分の10です。

項 国庫補助金、目 民生費国庫補助金、生活困窮者就労準備支援事業費等補助金

は、歳出・民生費、福祉事務所一般事務事業の特定財源で、125万2,000円の増額補正です。補助率は2分の1です。

続いて、就学前教育・保育施設整備交付金は、歳出・民生費、保育所等創設助成事業の特定財源で、1,434万9,000円の増額補正です。補助率は一部2分の1、一部3分の2です。

目 衛生費国庫補助金、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金は、歳出・衛生費、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の特定財源で、6,913万5,000円の増額補正です。ワクチン接種事業の事務費に係る補助金で、補助率は10分の10です。

目 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、コロナ禍において原油価格・物価高騰等に直面する生活者や事業者の負担を軽減し、支援する事業が対象とされる交付金で、7,537万5,000円の増額補正です。民生費、教育費に所要の事業費を計上しています。補助率は10分の10です。なお、名称が長いため、これ以降コロナ交付金と省略します。

款 繰入金、項 基金繰入金、目 財政調整積立基金繰入金、財政調整積立基金からの繰入金は、本補正予算に必要な一般財源を措置するもので、1,849万円の増額補正です。

款 諸収入、項 雑入、目 雑入、宝くじコミュニティ助成金（自治振興課）は歳出・総務費、地域コミュニティ活動支援事業の特定財源で、410万円の増額補正です。

7ページです。

続いて、宝くじコミュニティ助成金（消防本部）は、歳出・消防費、常備消防活動事業及び消防団活動事業の特定財源で、140万円の増額補正です。

いずれも一般財団法人自治総合センターの助成事業として、10分の10の助成金の交付決定を受けたものです。

款 町債、項 町債、目 民生債、保育所等創設助成事業債は、歳出・民生費、保育所等創設助成事業の特定財源で160万円の増額補正です。起債充当率は80%です。

8ページから歳出です。

款 総務費、項 総務管理費、目 一般管理費、地域コミュニティ活動支援事業は、410万円の増額補正です。町内会からの申請に基づき、一般財団法人自治総合センターにコミュニティ活動備品の申請を行い、コミュニティ助成事業として助成金の交付決定を受けたことから、コミュニティ活動の活性化を図るための町内会地域活動促進事業補助金を増額するものです。対象は2つの町内会です。柳ヶ丘第5町内会が200万円、千代東町内会が210万円です。内容は、いずれも町内会集会所の会議用の机、椅子等の家具類、テレビ等の電化製品、備品等を収納するための物置などとなっております。特定財源として、宝くじコミュニティ助成金を全額充当します。

目 人事管理費、職員給与費事業（人事管理費）は、1,724万7,000円の増額補正です。中途退職者1名分の退職手当を増額するものです。

9ページです。

款 民生費、項 社会福祉費、目 社会福祉総務費、福祉事務所一般事務事業は、250万6,000円の増額補正です。生活保護費の保護費基準見直し及び被保護者調査に関する調査項目の追加に対応するため、システムの改修を行うものです。特定財源として国庫補助金を充当します。

目 老人福祉費、高齢者福祉施設原油価格・物価高騰対策支援金給付事業は、3,520万2,000円の増額補正です。

昨年度に引き続き、原油価格・物価高騰による影響を受ける町内の介護サービス事業者を支援するため、支援金を給付します。対象は町内で介護サービス事業を行う通所施設21施設、入所施設23施設で、通所施設は1人当たり月額1,200円。入所施設は、1人当たり月額3,500円を各施設の定員数に応じて給付します。給付対象期間は令和5年4月から令和6年3月までの1年間です。

なお、広島市及び安芸郡3町でも同様の支援を行います。

特定財源としてコロナ交付金を全額充当します。

目 障害福祉費、障害者福祉施設原油価格・物価高騰対策支援金給付事業は、685万円の増額補正です。

高齢者福祉施設と同様に、町内の障害者福祉サービス事業者を支援するため支援金を給付します。対象は町内で障害福祉サービス事業を行う通所施設26施設、入所施設6施設で、通所施設は1人当たり月額1,200円、入所施設は1人当たり月額3,500円を各施設の定員数に応じて給付します。

給付対象期間は令和5年4月から令和6年3月までの1年間です。

なお、広島市及び安芸郡3町でも同様の支援を行います。

特定財源として、コロナ交付金を全額充当します。

10ページです。

項 児童福祉費、目 児童福祉総務費、保育所等創設助成事業は、1,624万8,000円の増額補正です。

当該事業の国庫補助金である就学前教育・保育施設整備交付金が令和5年4月1日付で改定され、交付基準額が増額となったことにより、保育所等施設整備補助金を増額するものです。

当該補助金の総額は、当初予算2億1,173万9,000円から補正後の額は2億2,798万7,000円となります。

特定財源として国庫補助金及び町債が充当されます。

目 保育所費、保育施設等給食費補助事業は、1,114万1,000円の増額補正です。

昨年度から続く原油価格・物価高騰の影響を受ける町内保育施設等の安定的な給食の実施に当たり、保護者の負担が増加することのないよう、保育施設等に対して補助金を給付するものです。

対象施設は、町内の保育所6、認定こども園1、地域型保育事業所4、新制度移行の幼稚園1の合計12施設で、児童1人当たり月額で副食費610円、主食30円、合計で月額640円を、各施設の在籍児童数に応じて給付します。給付対象期間は令和5年4月から令和6年3月までの1年間です。

なお、広島市、海田町など近隣市町でも同様の支援を行います。

特定財源としてコロナ交付金を全額充当します。

続いて、保育施設原油価格・物価高騰対策支援金給付事業は、479万円の増額補正です。

昨年度に引き続き、原油価格・物価高騰の影響を受ける町内の保育施設を支援するため支援金を給付します。

対象施設は町内の保育所6、認定こども園1、地域型保育事業所4、新制度移行幼稚園1に加えて、認可外保育所4の合計16施設で、児童1人及び職員1人当たり年額2,500円を、各施設の在籍児童数及び職員数に応じて給付します。

なお、広島市、海田町など近隣市町でも同様の支援を行います。

特定財源としてコロナ交付金を全額充当します。

11 ページです。

款 衛生費、項 保健衛生費、目 予防費、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業は、1億4,484万8,000円の増額補正です。令和5年度分のワクチン接種について必要な経費を計上しています。

令和5年度の新型コロナウイルスのワクチン接種については、先ほど報告した令和4年度からの繰越明許費及び4月20日に専決し、5月16日の臨時議会で承認いただいた補正予算（第1号）に5月までの事業費を計上しているところです。本補正予算では、6月以降の事業費を計上しております。

接種人数は個別接種約2万4,000人、集団接種4,800人を見込み、ワクチン接種委託料のほか、コールセンターや集団接種会場の運営委託料、予約管理システムに要する経費等の事務費を合わせて計上しています。

特定財源として全額国費が充当されます。

令和5年度の新型コロナウイルスのワクチン接種は、5月開始の春接種と9月開始の秋接種の2種類があり、春接種の対象者は、65歳以上の高齢者、基礎疾患等のある者、医療機関等の従事者等で約1万2,000人です。4月の後半から接種券の送付を開始しております。秋接種の対象者は、1・2回目の接種を終了し、かつ最終接種日から3か月以上経過した者で、5歳以上の全ての人を対象です。人数は約2万1,000人を見込んでいます。秋接種については、8月以降順次接種券を発送する予定です。

12 ページです。

款 消防費、項 消防費、目 常備消防費、常備消防活動事業は、40万円の増額補正です。

一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、防火思想の普及啓発活動を目的に、幼年消防隊用活動資機材、鼓笛隊セットを購入し、幼年消防クラブを結成している町内の保育園・幼稚園に交付するものです。今回の交付先は府中ひかり幼稚園です。

特定財源として宝くじコミュニティ助成金が全額充当されます。

目 非常備消防費、消防団活動事業は、100万円の増額補正です。

一般財団法人自治総合センターの地域防災組織育成事業を活用し、地域防災力の充実強化として、消防団活動備品を整備するものです。整備する備品は、まず消火栓訓練用機器です。これは防火水槽や池のような水圧のかからない水源から給水し、道路上にある地下式消火栓、これは水圧のかかる水源となりますが、この道路上の消火栓を使用するような訓練ができる機器です。実際の火災対応のほとんどは、地下式消火栓を活用した活動ですので、より実戦に近い訓練が実施できる機器です。この消火栓訓練用機器が1台、それに加えて、消防ホース15本を整備します。

特定財源として、宝くじコミュニティ助成金が全額充当されます。

13ページです。

款 教育費、項 小学校費、目 学校管理費、小学校管理運営事業は、205万7,000円の増額補正です。

府中南小学校の学校事務職員においては、当初、県費職員2名の配置を見込んでおりましたが、1名のみ配置となったため、町費職員1名分を増額補正するものです。

続いて、小学校給食食材調達事業は、1,253万6,000円の増額補正です。

昨年度からの食料品等価格の高騰により、学校給食においても食材等の高騰の影響を受けていることから、保護者の負担増を求めることなく、十分な栄養バランスや量を保った給食を安定的に提供するため、食材購入のための賄い材料費を増額するものです。消費者物価指数の上昇率などを基に、小学校児童1食当たり20円を増額分として追加します。

対象期間は令和5年4月から令和6年3月までの1年間です。

特定財源としてコロナ交付金を全額充当します。

14ページです。

項 中学校費、目 学校管理費、中学校管理運営事業は、236万7,000円の減額補正です。

府中中学校の学校事務職員においては、当初、県費職員は1名のみ配置が見込まれたため、町費職員1名を追加で配置をする予定としていましたが、県費職員が2名配置となったため、町費職員配置分を減額補正するものです。

続いて、中学校給食食材調達事業は、485万6,000円の増額補正です。

小学校と同様に、中学校の学校給食においても、食材等の高騰の影響を受けていることから、保護者の負担増を求めることなく、十分な栄養バランスや量を保った給食

を安定的に提供するために、食材購入のための賄い材料費を増額するものです。消費者物価指数の上昇率などを基に、中学校生徒1食当たり22円を増額分として追加します。

対象期間は令和5年4月から令和6年3月までの1年間です。

特定財源としてコロナ交付金を全額充当します。

次に、第2条、地方債の補正について、第2表、地方債補正により説明します。

3ページにお戻りください。

第2表 地方債補正。変更です。

起債の目的、保育所等創設助成事業の限度額は、補正前が1,970万円、補正後が2,130万円です。起債の方法、利率、償還の方法については、いずれも変更はありません。

補足説明は以上です。よろしく申し上げます。

○議長（梶川三樹夫君） ここでしばらく休憩といたします。

再開は、11時10分からといたします。休憩。

（休憩 午前10時57分）

（再開 午前11時10分）

○議長（梶川三樹夫君） 休憩中の議会を再開します。

~~~~~○~~~~~

○議長（梶川三樹夫君） 先ほどの説明に対し、質疑を行います。

質疑は歳出から、ページごとに行います。

8ページの歳出について質疑ございますか。

10番西議員。

○10番（西 友幸君） すみません、歳入でもやりたいんですが、コロナワクチンの助成がありますよね。

○議長（梶川三樹夫君） 8ページです。

○10番（西 友幸君） 8ページ。

○議長（梶川三樹夫君） 歳出の8ページ。

○10番（西 友幸君） 歳出なんじゃけど。ごめんごめん、8ページやね、すいません。

○議長（梶川三樹夫君） ほかに 8 ページでございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、9 ページでございますか。

11 番寺尾議員。

○11 番（寺尾光司君） 確認なんですけど、高齢者と障害者の福祉施設にそれぞれ物価高騰対策ということで支援金を交付するということです。それで説明では、それぞれの定員に金額を掛けたものを交付するというふうに聞こえたんですが、例えば町内施設に広島市の住所ある人とか、そういった場合はどうなるのかということとか、あと定員が欠けている場合ですね、定員いっぱいになってない場合についてどうなのか、ちょっとその 2 点。

それと、逆に広島市の施設のほうへ府中町の方がおられる場合は、それは市のほうからも給付になるのかどうかいうのも併せて教えてください。

○議長（梶川三樹夫君） 福祉保健部次長。

○福祉保健部次長兼高齢介護課長（藤永美香君） 福祉保健部次長兼職高齢介護課長です。

ただいまの寺尾議員の御質問についてお答えいたします。

定員ということですので、当町で補助を行う際には、その施設の中の定員に対して行うものであって、広島市にお住まいであるか、府中町でお住まいであるかというところには特筆するものがございません。ですので、定員数に応じて、利用率がなくてもお出しするという形にしております。広島市とか 2 3 市町それぞれが、同じような給付を行ってございまして、当町のような定員数を基にした自治体もございまして、利用率に応じてお出しするという自治体もございまして。

以上でございます。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、10 ページでございますか。

15 番益田議員。

○15 番（益田芳子君） 益田です。

保育施設の給食費補助について、ここでは認可外は入っていなかったようなんです

が、理由について伺います。

○議長（梶川三樹夫君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（塩月久美子君） 子育て支援課長です。

物価高騰につきましては認可外を入れているんですけども、給食費については認可外は対象となっております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） 15番益田議員。

○15番（益田芳子君） 益田です。その理由ってというのは何かありますか。

○議長（梶川三樹夫君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（塩月久美子君） 子育て支援課長です。

認可外については給食がありませんので、給食のある施設ということで認可外は含まれておりません。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） ほかにございますか。

6番田中議員。

○6番（田中伸武君） 同じようなところですけども、新制度幼稚園に対しては今の給食の補助はあるけども、そうでないところはないということでしたけども、制度に関係なしに幼稚園も延長保育とか給食やら弁当やら出しとるところもあると思うんですけど、その根拠の違いというのはどういうことですか。

○議長（梶川三樹夫君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（塩月久美子君） 子育て支援課長です。

新制度の移行幼稚園といいますのは、町のほうで施設型給付費を支給しているんですけども、施設型給付費について支給している園については対象としておりますが、幼稚園でもその新制度移行していない幼稚園につきましては、対象となっていないということになっております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

ほかにございますか。

11番寺尾議員。

○11番（寺尾光司君） 財務部長の説明の中にもあって、今も説明があったんですが、

新制度移行幼稚園とはどういうものですか。言葉の意味を説明してください。どうい
うところが、該当しているのかいうのも教えてください。

○議長（梶川三樹夫君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（塩月久美子君） 子育て支援課長です。

新制度移行幼稚園の定義、ちょっとごめんなさい。

○議長（梶川三樹夫君） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（山西仁子君） 新制度の幼稚園っていうのは、平成27年に子ども・
子育て支援法が変わりまして、今まで幼稚園は文科省の中で、広島県の補助を受けな
がら、独自で入学金とか、その幼稚園の月々の月謝とかを独自でされていたんですけ
れども、新制度幼稚園というのは府中町のほうで料金も全部、保育所と同じように設
定しておりまして、毎月、府中町から補助していて、府中町がその施設に対してもい
ろいろ指導とかができるというもので、府中町内で今のところ1園だけが新制度にな
っております。これから移行したいという意向等も各幼稚園から聞いておりますので、
増えてはいくとは思いますが、現在のところ1園、残りの園は、今までどおり広島県
の補助を受けながら、文科省の下でされている幼稚園ということになっております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

11番寺尾議員。

○11番（寺尾光司君） つばめ幼稚園のことを言っておる、どこですかね。具体的な
名称を教えてください。

○議長（梶川三樹夫君） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（山西仁子君） 福祉保健部長です。

つばめは認定こども園ですので、幼稚園と保育園が一緒になっておりまして、移行
制度の幼稚園は今のところ桃山幼稚園さんが移行されております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

6番田中議員。

○6番（田中伸武君） 制度の違いって、いわゆる保育所に近いということですかね、町
が措置、措置と違うんだらうけど、措置に近いような形の幼稚園なのかなと思うんで
すけども、基本は府中町の保育園児・幼稚園児はみんなその制度、園の制度がどう

あるかは知らないわけだし、あんまり関係ないわけだし、物価高騰、あるいは給食の原材料費で苦しい影響を受けとるのは同じなわけなんで、そこら辺の制度設計は安芸郡4町なり市なりともよくよく協議いただいてですね、不公平感のないようにさらに研究いただきたいなど。それを含めて要望ということになるかもしれませんが意見として言うておきます。

○議長（梶川三樹夫君） では要望ということで。

ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、11ページで質疑ございますか。

10番西議員。

○10番（西 友幸君） すいません、ここです、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業ということで、今多分、高齢者の方と幾らか第6回目のコロナワクチンの接種の券が行ってると思うんですよね。現段階でコロナワクチン、第5類に落ちましてインフルエンザと同程度ということになりましたけど、接種量は第6回目が幾らぐらいなのか。

それと、財務部長の答弁から、コロナワクチンの費用名目でいろんなことに使われています。それがコロナワクチンに該当するんかどうか、事業として、もう一つ疑問に思えるところはあるんですが、使えることは便利なんですけど、そこら辺のこともひとつお願いしたい、この2点をお願いします。

○議長（梶川三樹夫君） 答弁。

健康推進課長。

○健康推進課長（平岡直美君） 健康推進課長です。

西議員さんの最初の御質問です。

接種率につきましては、府中町の場合、6月18日現在で、年齢等関係なしに65歳以上の方、医療従事者等の方、基礎疾患ある方全て含めて12.4%です。

65歳以上の方の接種率については府中町の方が44.87%です。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） もう一つは。これは交付金の使い方の件です。

財務部次長。

○財務部次長兼財政課長（中本孝弘君） 財務部次長兼財政課長です。

今、11ページにある新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業、ここに当たっている国庫支出金というのがですね、歳入のほうのページでいいますと、6ページにあります新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金、それと中段にあります新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金、この2つがこの事業に対して充当しているものです。

同じ歳入の財務部長が説明した中での、いわゆるコロナ交付金というのは、先ほどの給食に充てられていたり、高齢者福祉施設に充当しているもので、一緒くたではない交付金となっております、接種対策費負担金というのが、接種そのものに対する委託料に対する充当ということになっておりまして、それから中段の接種体制確保事業費補助金というのは、その接種以外の運営費ですとか、そういったものに、人件費ですとかそういったものに係る負担金として、国のほうから10分の10が出ているものです。

説明は以上です。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

ほかにございますか。

11番寺尾議員。

○11番（寺尾光司君） 11番です。

ちょっと何点かお伺いしたいんですが、1つが集団接種会場の運営委託料ということで、1,100万円程度計上されているんですけど、今回秋接種については集団接種はどういう想定をしているのか、場所とか期間とかいうのを想定されて予算化されてると思うんで、集団接種をどの程度想定するかいうのを教えていただきたいということと、その一番下に広島県新型コロナウイルスワクチンコールセンターの負担金と、それとその次のページの個別接種促進支援金というのが、従前のワクチンの接種体制の事業では計上されてなかったと思うんですが、新たな経費が必要になってきた内容をですね、教えていただきたいということです。お願いします。

○議長（梶川三樹夫君） 答弁。

健康推進課長。

○健康推進課長（平岡直美君） 健康推進課長です。

秋開始の集団接種についてですが、場所としましては春開始と同じように福寿館を考えております。期間につきましては、9月から開始ということで、日程等について

はただいま調整しております。

2つ目のコールセンター、広島県新型コロナウイルスワクチンコールセンターの負担金ですが、もともとこのコールセンターは広島県が新型コロナウイルスワクチンコールセンターとしてワクチン接種の不安や疑問などを相談できるように以前から開設されていたものです。広島県が新型コロナウイルスワクチンに関する専門相談を行うためのものですが、市町のワクチン接種に関する一般的な質問であれば、こちらのコールセンターに住民の方が電話された際に府中町の方であれば府中町の接種会場とか接種券に関する事なども分かる範囲でお答えいただいていたものになります。そのために広島県の各市町でこの事業に対する負担金を広島県に支払っているものになります。

続いて、個別接種促進支援金についてです。

この個別接種促進支援金は、これまで広島県が実施主体として新型コロナワクチン個別接種促進のための支援事業を行ってきましたが、今年度は国の要綱である新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱に基づき、令和5年5月1日接種分から府中町が主体となり、府中町新型コロナウイルスワクチン個別接種促進事業として支援を行うことになりました。

個別接種促進の支援の内容として、対象期間中に週100回以上の接種を4週以上を実施し、該当する週のうち、少なくとも1日は時間外、夜間または休日に接種を行われた診療所に対して、週100回以上の接種を行った週の回数分に2,000円を乗じて得た額を支援金として交付するものになります。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

11番寺尾議員。

○11番（寺尾光司君） ちょっと県のコールセンターの負担金というのがもう一つ。以前からあるという説明だったんですけどもう一つ内容が分からないんですが、ただ説明の内容じゃ、負担金より委託料みたいなところなんですかね。

それとあと町のコールセンターとの役割分担というのか、その辺がはっきりして要は結構全国的にもコールセンターで、マスコミ報道によると水増し請求みたいなことが報道されていたりしますよね。その辺しっかりコールセンターの事業の内容とか実績とかいうのを確認の上、予算執行していただきたいというのを要望したいと思います。

それと、もう一つの個別接種の促進支援金ということで、これ県のホームページもあったんですけど、従前は県が支払っていたのを、今年度からは、市町から支払うということで、財源としては同じコロナの国のお金なんで、県が払おうが町が払おうが制度的には同じもんでなんだろうが、何で町のほうへ移行したというのがちょっと分からないんですが、しっかり医療機関の支援をですね、いただいて円滑な個別接種が進むよう協力していただきたいということで、要望しておきます。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） 続いて12ページ。消防費、ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） じゃあ13ページ、教育費。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） 続いて14ページ質疑ございますか。

4番狩野議員。

○4番（狩野雄二君） 4番狩野です。

一番下、14ページですね、中学校給食食材費調達事業賄い材料費ですか、これが1人当たり22円っていう説明がございました。その前のページで小学校の場合は20円と記憶してるんですけど、この2円の差っていうのは、やはり摂取カロリーの違いから来たものなのか、その2円の違っていうのは、どこから来たものなんだろうかと、よろしくをお願いします。

○議長（梶川三樹夫君） 答弁。

学校教育課長。

○学校教育課長（立花淑子君） 学校教育課長です。

小学校のほうは1人当たり20円、中学校が1人当たり22円ということですが、この2円の差というのが、それぞれ給食の中には主食という牛乳と副食という3つに分けてあります。主食についてはもともとの給食費が、小学校は280円、中学校は310円になっております。主食の内訳については、小学校では2.3円、中学校では2.5円を考えております。それが実質値上がった金額というふうに捉えております。牛乳については、同じ牛乳ですので上昇が5.9円ということで、実質5.9円

を両方で上げております。残りが副食ということで、おかずになるんですけれども、こちらのほうが消費者物価指数というところで捉えておりまして、その上昇率を給食費から主食と牛乳を引いたものに、物価上昇率を掛けたもので計算しておりますので、この2円の差、中学校のほうが多くなっているというところですよ。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、続いて歳入について質疑を行います。

少し戻って6ページと7ページの歳入について、一括で質疑ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ続いて3ページ、第2表、地方債補正で質疑ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、以上をもって質疑を終わります。

討論ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、お諮りします。

本案は、原案のとおり決したいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決決定いたしました。

次に参ります。

~~~~~○~~~~~

○議長（梶川三樹夫君） 日程第6、第28号議案、府中町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正についてを議題に供します。

本案について、理事者の説明を求めます。

町長。

○町長（佐藤信治君） 第28号議案 令和5年6月23日提出。

府中町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について。

府中町職員の特殊勤務手当に関する条例（平成2年条例第23号）の一部を改正する条例を次のように定める。

府中町長 佐藤信治

提案理由でございますが、新型コロナウイルス感染症に対処するための作業に従事した職員に対し支給していた特殊勤務手当の規定を廃止するため、条例の一部を改正するものであります。

補足説明は総務企画部長が行います。よろしく申し上げます。

○議長（梶川三樹夫君） 補足説明。

総務企画部長。

○総務企画部長（増田康洋君） 総務企画部長です。

第28号議案、府中町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正についてに関し、補足して説明いたします。

第28号議案参考資料をお願いいたします。

1、改正の趣旨です。

新型コロナウイルス感染症、以下、コロナと申します、に対処するための作業に従事した職員に対し支給していた特殊勤務手当の規定を廃止するため、条例の一部を改正するものです。

2、改正事項の概要です。

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における、コロナが5類感染症に移行されたことに伴い、当該感染症に対処するための作業に従事した職員に対し支給していた特殊勤務手当の規定を廃止いたします。

令和2年2月1日以降、感染者等に接する作業、病原体に汚染された場所や物件の消毒等を行う作業、感染者等を病院や宿泊施設へ移送する作業など、職員がコロナから町民等の生命及び健康を保護するため、緊急に行われた措置に係る作業に従事した場合、消防職員に対し、1日につき4,000円を基本に支給してきました。

令和5年5月8日以降、コロナが5類感染症に移行したことにつきましては、皆様御承知のとおりでございますが、コロナが法的に特別な取扱いではなくなったことから、当該規定を廃止するものです。

なお、実務につきましては規則で定めることとしておりますが、規則における規定は既に廃止しており、実際の支給は現在行っていないところです。

3、施行期日は公布の日です。

補足説明は以上です。よろしくお願ひいたします。

○議長（梶川三樹夫君） ただいまの説明に対し、質疑を行います。

質疑ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、以上をもって質疑を終わります。

討論ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、お諮りします。

本案は、原案のとおり決したいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決決定いたしました。

次に参ります。

~~~~~○~~~~~

○議長（梶川三樹夫君） 日程第7、第29号議案、府中町税条例の一部改正についてを議題に供します。

本案について、理事者の説明を求めます。

町長。

○町長（佐藤信治君） 第29号議案 令和5年6月23日提出。

府中町税条例の一部改正について。

府中町税条例の一部を改正する条例を次のように定める。

府中町長 佐藤信治

提案理由でございますが、地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するものであります。

補足説明は財務部長が行います。

○議長（梶川三樹夫君） 補足説明。

財務部長。

○財務部長（胡子幸穂君） 財務部長です。

府中町税条例の一部改正について補足して説明します。

第29号議案参考資料を御覧ください。

1、改正の趣旨です。

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、府中町税条例の一部を改正するものです。

2、改正事項の概要です。

町民税関係と軽自動車税関係の改正があります。

(1)と(2)は町民税関係の改正です。

(1)令和6年度から個人の町民税と併せて森林環境税(年額1,000円)が賦課徴収されることに伴う所要の改正を行うものです。

個人町県民税の均等割は、東日本大震災復興基本法に基づき、平成26年度から令和5年度までの10年間、臨時的に年額1,000円が引き上げられ、賦課徴収されておりましたが、この臨時的措置は終了し、令和6年度より新たに森林環境税が導入されます。森林環境税は国税ですが、個人町県民税均等割の枠組みを用いて、1人年額1,000円を町が賦課徴収するものです。

(2)給与所得者の扶養親族等申告書について、その申告書に記載すべき事項が、その年の前年の申告内容と異動がない場合には、その記載すべき事項の記載に代えて、その異動がない旨の記載によることができることとしているものです。

次に、(3)と(4)は、軽自動車税関係の改正です。

(3)道路運送車両の保安基準の改正により特定小型原動機付自転車が追加されたため、軽自動車税種別割の車両の区分についても、特定小型原動機付自転車を追加するなど、所要の改正を行うものです。

特定小型原動機付自転車とは、いわゆる電動キックボードです。令和5年7月1日から、一定条件を備えた電動キックボード等について、新たな交通ルールが適用されることとなりました。これまで電動キックボードは原則、原付バイクなどと同様の分類とされていましたが、新たに特定小型原動機付自転車という分類が新設され、自転車とほぼ同様の交通ルールが適用されることとなります。主なルールとしては原則として車道を通行すること、ヘルメットの着用は努力義務とすること、運転免許は不要ですが、16歳未満の運転は禁止であることなどがあります。また、当然に飲酒運転も禁止されています。この特定小型原動機付自転車に該当するための基準としては、主なものとしては、最高速度が時速20キロ以下に設定されていること、車体に最高

速度を表示する緑色のランプが備えられていること、車体の大きさは長さ190センチ以下、幅60センチ以下であることなどがあり、ナンバープレートの取得や、ライトやミラーの装備も必要となります。なお、特定小型原動機付自転車の軽自動車税種別割の金額は、原付バイクと同額の2,000円です。

(4) 軽自動車に係る環境性能割及び種別割について、当該税額に不足が生じた原因が自動車メーカーの不正行為に起因している場合は、当該者を納税義務者とみなして、不足額を徴収する際に加算金を設けています。その割合を現行の100分の10から100分の35とするものです。

(5) 法改正に伴い規定を整理します。

3、施行期日です。

2の(5)は公布の日です。2の(3)は、令和5年7月1日、2の(1)及び(4)は、令和6年1月1日で、経過措置として、いずれも施行日以後の各税目について適用し、施行日前までの各税目については、なお従前の例によるものとします。

2の(2)は、令和7年1月1日で、経過措置として施行日以後に支払いを受けるべき給与について提出する申告書について適用し、施行日以前に提出した申告書については、なお従前の例によるものとします。

補足説明は以上です。よろしく申し上げます。

○議長（梶川三樹夫君） ただいまの説明に対し、質疑を行います。

質疑ございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（梶川三樹夫君） なければ、以上をもって質疑を終わります。

討論ございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（梶川三樹夫君） なければ、お諮りします。

本案は、原案のとおり決したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（梶川三樹夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決決定いたしました。

次に参ります。

~~~~~○~~~~~

○議長（梶川三樹夫君） 日程第8、第30号議案、府中町老人ホーム入所判定委員会設置条例の制定についてを議題に供します。

本案について、理事者の説明を求めます。

町長。

○町長（佐藤信治君） 第30号議案 令和5年6月23日提出。

府中町老人ホーム入所判定委員会設置条例の制定について。

府中町老人ホーム入所判定委員会設置条例を次のように定める。

府中町長 佐藤信治

提案理由でございますが、老人福祉法第11条第1項に規定する措置の要否の判定を行うために設置する府中町老人ホーム入所判定委員会の組織及び運営に関し必要な事項を定めるため、条例を制定するものでございます。

補足説明は福祉保健部長が行います。

○議長（梶川三樹夫君） 補足説明。

福祉保健部長。

○福祉保健部長（山西仁子君） 福祉保健部長です。

府中町老人ホーム入所判定委員会設置条例の制定について補足して説明いたします。

第30号議案参考資料を御覧ください。

1、制定の趣旨です。

老人福祉法第11条第1項に規定する措置の要否の判定を行うために設置する府中町老人ホーム入所判定委員会の組織及び運営に関し必要な事項を定めるため、条例を制定するものです。

従前、入所判定委員会の設置を要綱で定めておりましたが、当該委員会については、自治法上の附属機関として整理し、今般、条例として位置づけるものです。

この入所判定委員会は、環境上の理由及び経済的理由により居宅での養護が困難な65歳以上の者について、養護老人ホーム等への入所等に関し、行政が必要性を判断し、処遇を決定するものであり、一般的な介護福祉施設への入所申込みとは異なるものです。

なお、近年の措置実績は、令和2年度3人、令和3年度2人、令和4年度1人となっております。

2、制定事項の概要です。

(1) 委員会は、町の諮問に応じ、ア、法第11条第1項に規定する入所処置の要否に関する事。及びイ、その他福祉事務所長が必要と認める事項に関する事について、検討及び判定し、その結果を答申します。

(2) 委員は、ア、府中町医師会所属の医師、イ、老人福祉施設の職員、ウ、府中町包括支援センターの職員、エ、府中町職員のうちから町長が委嘱し、または任命します。

(3) 委員の任期は、2年とします。

3、施行期日は、公布の日です。

説明は以上です。よろしくお願ひいたします。

○議長（梶川三樹夫君） ただいまの説明に対し、質疑を行います。

質疑ございますか。

6 番田中議員。

○6 番（田中伸武君） さっきのこれまで3年間の実績を説明いただきましたけども、令和2年3人、令和3年2人、令和4年1人これは実際に判定にかかった人あるいは判定にかかって入所が措置された人、あるいは判定で入所は駄目だった人がいるのかどうか、それぞれの人数なのか教えてください。

○議長（梶川三樹夫君） 高齢介護課長兼職次長。

○福祉保健部次長兼高齢介護課長（藤永美香君） 高齢介護課長兼職次長です。ただいまの御質問にお答えいたします。

令和2年から4年につきまして、それぞれ今部長のほうからの説明があったところなんですけど、いずれも皆さん審査にかけられまして、入所措置がされておられます。経済的な理由の方がほぼほぼでございまして、環境上の理由により1名ほど別の理由で措置をされたところがございます。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） ほかにございますか。

11 番寺尾議員

○11 番（寺尾光司君） 先ほども説明もありましたが、これ従来は要綱で設置して要綱で判定を、措置をする委員会を設置してたんですけど、これをあえて内容的には変わってないと思うんですけど、これを条例設置、附属機関としてしなければならないという判断をされて今回上程されたと思うんですけど、どうして今回この時期に出さ

れたかという状況を教えてほしいということと、それ以外にも様々な要綱設置する委員会があると思うんですけど、附属機関に該当するおそれのある要綱設置している委員会、ほかにはあるかどうかというのは、検証されているのかどうかいうのをお聞きしたいのが2点目。

それと最後に養護老人ホームなんですけど、3年間の判定状況は説明があったんですけど、現在、府中町からそういう養護老人ホームをお願いしている方の人数というのは何人になっているのか。

それで養護老人ホームというのは私の認識でいえば、町内はチェリーゴードだけだと思うんですけど、そのチェリーゴードだけで対応ができてるかどうかいうのをちょっと教えていただきたい。

○議長（梶川三樹夫君） 高齢介護課長兼職次長。

○福祉保健部次長兼高齢介護課長（藤永美香君） 高齢介護課長兼職次長です。

ただいまの御質問の1番目と3番目にお答えしたいと思います。

まず1番目なんですけれども、なぜこの時期に条例の制定に至ったかということでございますが、当該委員の委員会の委員の新しい任期となる令和5年4月から令和7年3月の2年間について、令和5年度以降につきまして、昨年9月に府中町の附属機関の設置条例が制定されたことも鑑みまして、老人福祉法に係る入所措置の判定は、一時的な設置される委員会ではなく、常態的に設置を必要とする委員会で審議されること、それから構成する委員が町の職員のみでなく、外部委員を含むこと、それから附属機関としての判断ですが、審査結果等を出して、その判断が町の判断を拘束することなどから、今般条例として整理したものでございます。

それから3番目の御質問についてなんですけれども、従来は養護の老人ホームで、措置をされた方が体調等により、当然、特別養護老人ホームに移られたりしております関係上、従来からの人数というところについては流動的でございますので、把握はできておりませんが、入所措置に関しましては措置費というものが公費のほうで出ておりますので、その公費につきまして対象となる方については現在8名いらっしゃるということでございます。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） 総務課長。

○総務課長（宮協理恵君） 総務課長です。

寺尾議員の2点目の御質問でございますけれども、附属機関について、法令に定めがないものにつきましては、府中町の条例で定めているところでございます。例えば府中町都市計画審議会条例ですとか、府中町子ども・子育て会議設置条例といったように条例で定めているところでございますけれども、今回同様に常設の附属機関ではかに条例化していないものがあるのではないかという御質問でございますけれども、今回同様全くないとは言い切れないというふうに考えてございます。調査を進めまして、不適切事案を確認した場合には今回同様条例化ですとか、当該機関の廃止など適正化に向けて個別具体的に対応してまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） 高齢介護課長兼職次長。

○福祉保健部次長兼高齢介護課長（藤永美香君） 高齢介護課長兼職次長です。

先ほどの説明が足りませんでしたので、チェリーゴードで足りているかどうかという御質問についてなんですが、先ほど申しましたように、養護から特養に変わる方も当然いらっしゃる中で、老人福祉法の11条の1項には3つほど規定がございます。原則は当該市町村に設置する養護老人ホームに措置ということが大原則なんですが、そのほかにも同じような理由で介護保険法で困難な方についての措置につきましては、当該市町村の設置する特別養護老人ホーム、もしくは当該自治体以外の設置する同等の施設等に措置することも可能となっております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） ほかになければ、以上をもって質疑を終わります。

討論ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、お諮りします。

本案は、原案のとおり決したいと思います。御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決決定いたしました。

次に参ります。

~~~~~○~~~~~

○議長（梶川三樹夫君） 日程第9、第31号議案、府中町火災予防条例の一部改正についてを議題に供します。

本案について、理事者の説明を求めます。

町長。

○町長（佐藤信治君） 第31号議案 令和5年6月23日提出。

府中町火災予防条例の一部改正について。

府中町火災予防条例の一部を改正する条例を次のように定める。

府中町長 佐藤信治

提案理由でございますが、消防法施行規則及び対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令の施行等に伴いまして、条例の一部を改正するものでございます。

補足説明は消防長が行います。よろしく申し上げます。

○議長（梶川三樹夫君） 補足説明。

消防長。

○消防長（新宅和彦君） 消防長です。

府中町火災予防条例の一部改正について、補足説明させていただきます。

第31号議案参考資料を御覧ください。

1の改正の趣旨です。

消防法施行規則及び対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令の施行等に伴い、府中町火災予防条例の一部を改正するものです。

2、改正事項の概要です。

(1)は、省令の改正に伴う改正です。

国の基準に従い、町が条例で定める対象火気設備等の位置、構造及び管理に関する基準を改正するものです。

ア、急速充電設備に係る規定を見直します。

急速充電設備とは、電気自動車等にコネクタを用いて充電する設備と定義しました。また、今後、自動車や原動機付自転車以外のものを充電対象とする急速充電設備

の普及が想定されますので、充電対象を電気を動力源とする自動車、原動機付自転車、船舶、航空機、その他これらに類するものと明記します。また、大型の電動バスや電動トラックの普及拡大に向けて、総務省消防庁で行われた検討会において、従来は変電設備として規制対象であった全出力が200キロワットを超える高出力の設備について、新たな火災危険は確認されなかったため、これまでの上限200キロワットを見直し、全出力が200キロワットを超えるものも急速充電設備として規制の対象とします。

イ、分離型の急速充電設備に係る取扱い。

急速充電設備のうち、変圧機能を有する本体と充電ポストで構成されるものを新たに分離型の急速充電設備として規定しました。充電ポストとは、単にコネクタと充電ケーブルを収納する設備で、変圧等の機能を有しないことから出火危険が低いものと想定されるため、屋外における建築物からの離隔距離の基準及び筐体の材質を不燃材料の金属製とする基準は適用しないこととしました。なお、コネクタと充電ケーブルを収納する以外の機能とし、蓄電池を内蔵することが想定され、蓄電池により出火危険が増加するおそれがありますので、保安のために設けるものを除き、充電ポストに蓄電池は内蔵してはならないこととしました。なお、保安のために設けるとは、停電時等に、電気自動車等とコネクタの接続部分の制御を行うものなど、整備の安全装置を維持するために設ける蓄電池が該当します。

また、分離型の急速充電設備では、本体とポストが離れた位置に設置されることが想定されるため、手動緊急停止装置は、利用者が異常を認めたとき、速やかに操作できる箇所に設けることとしました。

(2) は、健康増進法の改正に伴う改正です。

健康増進法の改正により、火災予防条例と重複する標識の設置が必要となる状況に対応するため、喫煙等に関する規定を見直します。

ア、喫煙所に設置する喫煙所という標識について、健康増進法に規定する喫煙専用室標識が設置されている場合は、火災予防条例による標識と重複するため、火災予防条例による標識は設置しなくてもよいものとししました。

イ、禁煙、火気厳禁または、喫煙所と表示した標識と併せて設ける図記号は、国際標準化機構が定めた規格または日本産業規格に適合するものとし、同趣旨の図記号を示した別表第7を削除します。

3、施行期日です。

施行期日は公布の日からとしています。ただし2（1）は、令和5年10月1日からとします。

4の経過措置です。

（1）の省令の改正に伴う改正、（2）の健康増進法の改正に伴う改正において、現に設置され、または設置工事がされている急速充電設備及び標識に併せて設置される図記号に係る基準の適用については、なお従前の例によるものとしています。

補足説明は以上ですよろしくお願ひいたします。

○議長（梶川三樹夫君） 皆さんどうですかね。もう少しなんで最後まで行こうかなという思いもあったんですけども。

発言する者あり

○議長（梶川三樹夫君） 皆さん、どうでしょう。時間は。このまま行ったほうがいいのかと思う人はどのぐらい。では人数が多いので、このまま行かさせていただきます。

ただいまの説明に対し、質疑を行います。

質疑ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、以上をもって質疑を終わります。

討論ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、お諮りします。

本案は、原案のとおり決したいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決決定いたしました。

次に参ります。

~~~~~○~~~~~

○議長（梶川三樹夫君） 日程第10、第32号議案、工事請負契約の締結についてを議題に供します。

本案について、理事者の説明を求めます。

町長。

○町長（佐藤信治君） 第32号議案 令和5年6月23日提出。

工事請負契約の締結について。

次の工事の契約を締結することについて、議会の議決に附すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年条例第25号）第2条の規定により議会の議決を求める。

府中町長 佐藤信治

提案理由でございますが、地方自治法第96条第1項第5号に規定する条例で定める契約を締結するためでございます。

補足説明は建設部長が行います。

○議長（梶川三樹夫君） 補足説明。

建設部長。

○建設部長（井上貴文君） 建設部長です。

第32号議案、工事請負契約の締結について補足して説明します。

第32号議案参考資料を御覧ください。

工事名は、歴史民俗資料館解体工事。工事場所は、府中町本町二丁目14番1号です。契約金額は、5,489万円。契約相手方は、広島県廿日市市木材港北5番20号、株式会社シンテツです。仮契約日は、令和5年5月1日。工期は、議会の議決のあった日の翌日から令和6年3月29日までとしております。

工事概要について説明いたします。

A3の第32-1号議案参考資料、工事概要説明書を御覧ください。

左上に記載しております工事概要のとおり、本工事は昭和29年度に建設された鉄筋コンクリート3階建て、延べ面積約1,150平方メートルの建物解体を行うものでございます。

河川沿いでの解体工事となりますので、河川管理者である広島県との協議の結果、出水期の10月20日までは内外装や設備の撤去にとどめ、重機を用いた本格的な躯体解体はそれ以降に行うこととなります。

なお、入札結果表については、財務会計システムの更新に伴い、広島県市町村共同利用電子入札システムから出力される様式に変更しております。主な変更点は、業者の表示順で、旧様式では、五十音順で表示しておりましたが、新様式では落札業者を先頭に有効な入札をした業者の入札金額の低い順に記載し、次に辞退した業者の順と

なっております。

説明は以上です。よろしくお願ひいたします。

○議長（梶川三樹夫君） ただいまの説明に対し、質疑を行います。

質疑ございますか。

4 番狩野議員。

○4 番（狩野雄二君） 参考資料の右下にフロー図が書いてあるんですけど、ステップ 1 からステップ 3 で、最終的に埋め戻し、矢板撤去で傾斜がついたような状況になってるんですけど、土砂の流出とか、その辺が懸念されるんですけど、その辺ってというのは十分考慮されての工事になっているのかというのを確認させてください。お願いします。

○議長（梶川三樹夫君） 建築課長。

○建築課長（原田 司君） 建築課長です。

このステップの絵なんですけれども、これは建築課のほうでやる工事であって、取壊しが終わる時期を見計らって、下水道課のほうで護岸の復旧をさせていただきます。ですからこの土砂で埋め戻した部分については、後からブロック積みを建設して、こういう堤体の形に復旧して終わりというようなことになっております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

2 番宮本議員。

○2 番（宮本 彰君） 2 番宮本です。

先ほど説明がありました 10 月 20 日までに内装のほうをやるとかっていう話なんですけど、これはステップ 1 が 10 月 20 日までで、ステップ 2 が 10 月 21 日からっていう認識でよろしいでしょうか。

それと、このステップ 2 から 1 階の部分の解体とか入ってくるんですけども、府中公民館前の道路の通行止めとかってということもあるのかどうか、その辺を教えてください。

○議長（梶川三樹夫君） 建築課長。

○建築課長（原田 司君） 建築課長です。

10 月 20 日までというのは出水期、要するに台風のシーズンが終わった後までは、護岸の管理道を塞いでもらっては困るということで、台風の時期が過ぎるまでは中の

解体ということで考えております。それがステップ1の部分です。ですからその出水期が過ぎた後は、上から壊して行って1階部分を残して矢板を打って、最終的に1階部分の躯体を解体するというところでございます。

解体のときには、裏の町道使うようになると思うんですけども、持ってくる機械の状況によって、当然片側交互通行というようなことはあると思うんですけども、その部分については、その工事時期に検討し、周知して行って、作業のほうは進めていきたいと思っております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） よろしいですか。

6番田中議員。

○6番（田中伸武君） この工事の最終的な埋め戻しの後どうなるところまで発注してらんかということをお聞きしたいんです。さっきの護岸の復旧工事というのはこの解体工事とは別に、下水道課でこの後に発注して護岸、別工事として発注するということなんですか。それとも今回の中でこの護岸工事があるのかどうかと。

それとその護岸とは別に、てっぺん側ですよ、今役場が建ってる上っ面のところは花壇のような修景のようなことをした埋め戻しがあるのかどうか。ここは府中小学校のグラウンド前の土手のようにかなり視界が開けるとみんなが通り道にもなるし、公衛協なんか花壇やりたいだろうなと思うわけで、非常に町が目立つ位置なんでそこから辺の修景はどこまでを想定しているのか、護岸との工事との関係について教えてください。

○議長（梶川三樹夫君） 建築課長。

○建築課長（原田 司君） 建築課長です。

工事部分についてお話をしたいと思います。

今のところ解体が終わるめどを見ながら、下水道課のほうで工事を発注しまして、解体の工事が終わるまでには、護岸の復旧をする業者を決定しておきたいということで調整を図っております。

今のところ護岸復旧した後については、今のところは平地で考えております。工事は護岸、ブロック積みをついて、表面を平地で埋め戻した状態で終わるという予定で考えております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） 6番田中議員。

○6番（田中伸武君） だから特に修景だとかですね、ある程度美化的な要素にするという埋め戻しは考えてないということですか。

○議長（梶川三樹夫君） 建築課長。

○建築課長（原田 司君） 建築課長です。

今のところは、ちょっとこれ、跡地利用の話にもなってくるんですけども、構造物等は造らずに、真砂で埋め戻した状態で終えるという計画であります。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） 11番寺尾議員。

○11番（寺尾光司君） ちょっと跡地の話もあるんですけど、その前に解体の範囲ですよね、躯体は全部壊すということですが、気になるのは植樹というか木がありますよね。木をどこまで伐採するのかわかるかということ。特に元の企画部というたら分かるかあれですけど、公民館で菜園をしている場所、ちょうど時計店の前のほうですけど、その辺の整理はされるんかということと、あとその下に公民館の駐輪場がありますよね。かなり老朽化しているし、喫煙所にもなってる部分があるんですけど、この部分の整備は行われるのかわかるか、それと県といろいろ協議されて進めてこられたということなんで、これ教育委員会のほうになるかもしれないんですけど、それ以外の部分、全体の跡地利用ですよね、この部分についてどこまで話がいつてるのかわかるのも教えていただきたい。

分団の詰所を解体した後は更地にしてそのまま県に返したと聞いてるんですけど、そういった同じようなことをされるのかわかるか、それとも町として借りて公園として整備するのかわかるか、その辺教えていただきたい。

それと、先ほど説明の中で護岸という話があったんですけど、河川側じゃなくて府中公民館側のブロック積みも、護岸という表現をされるということなんか。それと、これは実際の高さでいえば、裏側の町道と、ブロック積みされるんかどうかわかりませんが平地になる場の高低差がどのくらいあるのかというのも教えていただきたい。

○議長（梶川三樹夫君） 建設部長。

○建設部長（井上貴文君） 建設部長です。

今回発注させていただきますのは歴史民俗資料館の解体工事ということで、現在の榎川の河川敷を占用して、昭和29年度に建設されております。今回撤去後の考え方

ですけれども、まず右岸側に現在の歴史民俗資料館がございます。護岸というのは、河川でいうところの水があるところと堤体と言われる川の水を守るための土留めがあるところまでをいいます。詳しく言うともっと詳しくなるので、分かりやすく言うと、いわゆる河川敷の中に構造物があってはならないと。で、この構造物を撤去する際に、現在建っている建物と下の駐車場を全て撤去する。その際に、河川敷を守るための堤体を改めて整備する必要がある。この基準は広島県から既に示していただいております。その工事については先ほど説明がありましたように、解体工事が終わると同時に施工に入れるように準備をいたします。

それから、跡地利用についてですが、基本的には、榎川の河川改修が残っております。現在の役場前、それからくすのきプラザがある前、現在広島県のほうで、年間5,000万円から8,000万円の間に、工事のほうやっておりますけれども、考え方とすれば府中大川の合流地点から上流に向けて、1.4キロだったと思うんですけど、申し訳ございません、その数字をちょっとはつきりしないんですけども歴史民俗資料館よりもさらに上流域まで河川改修の予定がある。その河川改修をする際には、府中町のほうで、その跡地利用について広島県としっかり協議はしてまいります。ただし、現在においては、御存じのように、府中町の公共的な建物だけでなく、民間の方の建物もございます。それについても広島県と調整を取りながら、それらの建物がもし河川改修前に撤去がなされるのであれば、その跡地について協議を進めていくことも1つの手ではないかというふうに考えますが、考え方としては、河川改修後に、公共空地を活用していくと。府中大川沿いを同じように、公共空地を活用していきたいと考えております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） 建築課長。

○建築課長（原田 司君） 建築課長です。

自転車置場の屋根の部分、この部分についても全て撤去いたします。浄化槽の跡が残っているということなのでその部分についても一部撤去して、アスファルト舗装で復旧するということになっております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） 11番寺尾議員。

○11番（寺尾光司君） 跡地利用なんですけど、河川改修後に協議するということですか。

が、河川改修のめどがちょっといつまでというのが立っていないので、それまでの暫定利用はどう考えてるのかいうのを教えてください。

それと堤体の高低差ですね、高さを教えてほしいのと、あと樹木、どこまで切るのか、それであそこの何か元の産業経済課というか、今広場みたいなところにパーゴラがありますよね、あの辺もきれいに整備するのかどうかいうのをちょっと教えてください。

○議長（梶川三樹夫君） 建築課長。

○建築課長（原田 司君） 建築課長です。

今のパーゴラとか、上の構造物は全て取ることで考えております。

樹木なんですけれども、低木については根まで取ってしまう予定なんですけど、高木で護岸、今の川側ですね、これに近い高木については、G Lの部分で切って、護岸に影響を与えてはいけないので、それを切るということで県とは話ができております。ですから植樹等を全て撤去するというふうに考えていただきたいと思います。

それで、畑のところの話だと思うんですけれども、解体にはどうしてもそこを使うようになりますので、今は畑の機能としてはもう作らないでくださいという協議をさせていただいております。その後については、埋め戻した後その跡地利用の話になってくるんですけれども、そこは今後、ということになると思います。

高低差は3メートル程度、図面の立面図があると思うんですけれども、ここに河川側が10.65、それで道路側13.65というのが出ておりますね。3メートル程度。ただ、道路自体が多少の勾配がありますので若干低くなってくる部分も出てくるかと考えております。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） 建設部長。

○建設部長（井上貴文君） 建設部長です。

河川改修が行われるまでの間、暫定的にでも使えないかという御質問がありました。現在の府中町の総合計画実施計画では、跡地利用についての整備計画は計上していません。ただ、御存じのように30年災のときに左岸側が崩落しました。崩落後復旧はいたしましたが、右岸側については、影響がなかったため補強はいたしていません。その影響もありまして、これははっきり広島県から聞いたわけではなく、技師として私の見解ですが、あくまでもそこを公共用地として開放する場合は、やはり転落

防止が必ず要するというふうに私は考えます。その場合、河川敷の護岸側に転落防止をつけるということになると、そこにコンクリートの支柱を打ち込むことになる。そうすると護岸の崩落につながるつながるおそれがあるので、もし、公共用地の利用をする場合は、河川改修後に行うのが一番安全であるというふうに考えます。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） 11番寺尾議員。

○11番（寺尾光司君） 僕の意見でいう跡地利用は町としてどう考えるかというお話であって、ここは経済文化ゾーンに当たるのかな、そういった公民館の前のところで、河川改修もすぐに始まるということじゃないと思うんで、公園的な利用をですね、緑地的な利用をぜひ進めていっていただきたいんで、そういった検討もされてたんじゃないかと思うんですが、以前設計のときに、それも含めて県と協議するような話があったと思うんですが、その辺教育委員会サイドになるのか、企画サイドになるのか。ちょっとそういう立案、今後どういう土地利用して考えるところでどういう検討されているか教えてほしい。逆にそれが無いんなら、先ほどの話じゃないですけど、分団の詰所のように、解体した後全て県に返すということになるのか、それを想定してるのかどうか、その辺はつきり町としてのスタンスを教えてくださいたいです。

○議長（梶川三樹夫君） 建設部長。

○建設部長（井上貴文君） 建設部長です。

当該地区は歴史文化ゾーンとして位置づけております。その中で議員御指摘の河川敷の有効活用ということで、第3次総合計画から第4次総合計画に継承しております。その中で、第4次総合計画策定時に、私もこの河川敷の計画に携わっております。その計画の中では、河川改修後の計画として扱っております。ですから、30年災以降、府中町では府中町役場の下流側、府中大川の県の河川改修が終わっていますが、現在も災害復旧のために盛土しているところがありますけど、あそこも府中町が広島県と協議をして借りる予定としております。協議はしております。その際に、旧県道、現在町道になっておりますけども、府中交番から歩道があって、新しく茂陰変電所線ができたところまで一部歩道が切れております。それを歩道をつなぐための新しい橋を架けて、今の本町公園、文化橋、それから、歴史民俗資料館が現在ある位置、埃宮まで続くいわゆる参道という位置づけを当時はしていたと思いますけど、そういうビジョンを持ったということはありません。ただ、それは全て河川改修と同時に行うもの

であり、河川改修前に行う計画とはしておりません。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） 11番寺尾議員。

○11番（寺尾光司君） 計画はあると思うんですけど、今私が質問してるのは、暫定的にどう利用するのかというのを質問をしているのであって、もしそういった暫定利用がないなら県にそのまま返すのかという話をしてたんであって、ちょっと質問の答えにはなっていないと思うんですが。

○議長（梶川三樹夫君） 建設部長。

○建設部長（井上貴文君） 私の答弁がちょっと違ったのかも分かりませんが、河川改修が終わるまでは暫定利用ができません。それは、先ほど申しましたように、転落防止柵等の安全施設を設置する必要がありますし、先ほど述べましたけども、個人の民地といいますか、河川敷であります、人の家の前を通るような形での利用というのは私は難しいというふうに思っております。なので、河川改修後にそういう計画を持ったというふうに私は引き継いでおります。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） 11番寺尾議員。

○11番（寺尾光司君） 要は県で返すということを言いたいのかどうか、ちょっとその辺ははっきりしないんですけど、ただ、ここは撤去した後に大きな平地になるんでそれで埃宮のちょうど真ん前でもありますし、そのまま空き地のまま放置しておくことにはならないと思うんですよね。その辺歩道なり、遊歩道整備をなさいたいことじゃなくて、今現在通行されてますので、そういった通行は確保するなり、あと転落防止の柵を造るなり、ある程度公共空地として暫定利用する必要があると思うんですけど、この辺について、町長直接町長の考えを教えてください。

○議長（梶川三樹夫君） 町長。

○町長（佐藤信治君） 私のほうに質問が来ましたがけれども、今建設部長が答弁した範囲でしか今のところ計画も検討もない、それまでの状況を踏まえて答弁させていただいたということでございます。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） 11番寺尾議員。

○11番（寺尾光司君） 先程私が申しました暫定撤去した後の空き地、これの利用に

については全く町は考えないということですか。河川改修が済むまでは。だから、それについては人が通ってるところとか転落しないように柵をすとかそういうのは県にお願いするという立場になるということですかね。その辺正しく答えてほしいということです。

○議長（梶川三樹夫君） 答弁。

建設部長。

○建設部長（井上貴文君） 建設部長です。

河川敷の管理の在り方について広島県と協議をいたしております。広島県は河川管理道として管理するために、転落防止柵、あるいはガードレールの設置はしないという考えを持っておられます。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） 11番寺尾議員。

○11番（寺尾光司君） 現状ですね、ここ人が実際通ってるんですよ。それで町が撤去した後に安全に通れるように、それは逆に町から県に要望すべきじゃないでしょうかね。完全に封鎖されるということじゃないと思うんで、公共空地としてしっかり町としても県に維持管理をお願いしていただきたいと思うし、また、町としてそんなに大きな予算がかかるというふうには思わないんですけど、空き地として空地として適正な維持管理にかかる費用については、当然負担していくべきだというふうに思いますのでぜひ検討していただきたいと思います。

○議長（梶川三樹夫君） じゃあ、今後の検討ということで、よろしくをお願いします。

2番宮本議員。

○2番（宮本 彰君） 今、公民館で大きな催物があった場合にはですね、駐輪場に自転車がいっぱいになって、自転車とかバイクが増える状況なんですよ。道路の反対側に今駐輪場があるんですけども、そこもいっぱいになっているというような状況があるんで、跡地利用を検討していただきたいんですけども、今あの道路の入り口から公民館までの間、多家神社なんかでお祭りがあった場合自転車とかバイクが物すごい並んでですね、車が通れないような状況になることもあります。そういうことを考えて、ぜひ駐輪場をですね、センターの道路際にですね、造っていただきたいことを要望いたします。

以上です。

○議長（梶川三樹夫君） ただいまの発言は議題外にわたっておりますので、要望等は、今、質疑を行っておりますので、よろしくお願ひします。

ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、以上をもって質疑を終わります。

討論ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、お諮りします。

本案は、原案のとおり決したいと思ひますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） 御異議なしと認めます。よつて、本案は原案のとおり可決決定いたしました。

次に参ります。

~~~~~○~~~~~

○議長（梶川三樹夫君） 日程第11、第33号議案、工事請負契約の締結についてを議題に供します。

本案について、理事者の説明を求めます。

町長。

○町長（佐藤信治君） 第33号議案 令和5年6月23日提出。

工事請負契約の締結について。

次の工事の契約を締結することについて、議会の議決に附すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年条例第25号）第2条の規定により議会の議決を求める。

府中町長 佐藤信治

提案理由でございますが、地方自治法第96条第1項第5号の規定により条例で定める契約を締結するためでございます。

補足説明は建設部長が行います。

○議長（梶川三樹夫君） 補足説明。

建設部長。

○建設部長（井上貴文君） 建設部長です。

第33号議案、工事請負契約の締結について補足して説明します。

第33号議案参考資料を御覧ください。

工事名は、府中東小学校校舎・屋内運動場改修工事。工事場所は、府中町山田四丁目4番1号、府中東小学校です。契約金額は1億5,400万円。契約相手方は、広島市西区竜王町5番15号、宮本塗装工業株式会社です。仮契約日は、令和5年5月1日。工期は、議会の議決があった日の翌日から令和6年3月29日までとなっております。

それでは、工事概要について説明いたします。

A3の第33-1号議案参考資料、工事概要説明書を御覧ください。

右上の配置図に、今回の工事対象範囲をグレーで表示しております。校舎3棟、管理教室棟と特別教室棟、普通教室棟、さらに、屋内運動場、渡り廊下を対象としております。

本工事は、維持保全事業として、建物の長寿命化を図るための外壁改修等を行うもので、全ての建物の外壁改修を実施いたします。

また、普通教室と屋上と屋内運動場屋根については、防水改修を実施するとともに、屋内運動場、アリーナについては、床改修も併せて行います。

説明は以上です。よろしく願いいたします。

○議長（梶川三樹夫君） ただいまの説明に対し質疑を行います。

質疑ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、以上をもって質疑を終わります。

討論ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） なければ、お諮りします。

本案は、原案のとおり決したいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（梶川三樹夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決決定いたしました。

ここでお諮りいたします。

本日はこれをもって散会としたいと思います。御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(梶川三樹夫君) 御異議なしと認めます。よって、本日はこれをもって散会とし、次回は6月26日午前9時30分から会議を開きます。御苦労さまでした。散会。

(散会 午後 0時37分)